

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・国際物流分野(3/4)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
さがみロボット産業特区 (神奈川県)	4.0	4.2 進捗度 ・生活支援ロボットの導入施設数 167% ・実証実験等の実施件数 140% ・特区発ロボットの商品化状況 100% 等	3.6 規制の特例等 ・医療機器製造販売承認等の手続の円滑化(薬事法)等 地域独自の取組 ・「セレクト神奈川NEXT」等による企業誘致の促進等	4	<p>・評価指標4で目標達成に至らなかった理由の一つとして、新型コロナウイルス感染症拡大外の影響で展示会の開催方法等を見直した結果等によることを挙げているが、具体的にどのような見直しをし、何が足りなかったのか、至らなかったと考えられるのかを把握しておけば、具体的に今後どのような取り組みをしていくべきかがよりはっきりするのではないかと。人と人の接触を軽減するという意味でも、ロボットの活用は重要であり、必要とされる場面も増えていると考えられるため、コロナ禍である今、なおさら積極的な取り組みに期待したい。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症により事業の推進に一部支障がある中、全体として順調に目標達成に向けて進捗していると思われる。</p> <p>・特区発ロボットの実証実験、商品化、および生活支援ロボットの導入、の各プロセスで継続して十分な成果を上げ続けていることが高く評価できる。国内外のロボット産業の成長という外的要因だけでなく、本特区での継続的な取り組みの成果が反映されている。新型コロナウイルス感染症拡大を背景として、生活・医療関連の支援ロボットのニーズは今後もこれまで以上に高まることが予想されるので、引き続き、目標を上回る成果が期待される。</p> <p>・財政支援などの活用は行われていないものの、全体的な進捗は極めて良好と評価できる。</p>